



新社長に聞く

日立ソリューションズ・クリエイト(東京都品川区)は、4月から南章一新社長による新体制でスタートを切った。南氏は日立製作所で長年金融システムのエンジニアを務め、プロジェクト管理の経験も豊富だ。「SI(システム構築)とソリューションの両面を持つ強みを生かし、もっと存在感を高めていきたい」と話す南社長に戦略を聞いた。

◇日立ソリューションズ・クリエイトの印象はいかがですか。

南社長 日立製作所時代は金融のプロジェクとで一緒にSIに取り組んできた戦友のような存在だと思っていた。実際に入社してみても、これまではSIの側面で見ることが多かったが、ワークスタイルやセキュリティなど独自ソリューションを持ち収益にも貢献し

日立ソリューションズ・クリエイト 南 章一 社長



ソリューション領域で独自性を出す

—日立ソリューションズ・クリエイトの印象はいかがですか。

南社長 現状をどう見ますか。

南社長 SIに関してはデータベースや運用をはじめ、直接顧客に提案できるソリューションを開発して

—課題に対してどのように取り組んでいきますか。

南社長 新たなチャレンジができる後押しをする。ともに投資も増やしていく。直接顧客に提案できるソリューションを開発して

—今後の展望は。

南社長 SIとソリューションサービスの2軸で展開する中で、特にソリューションの領域で当社の独自性を出していくことが重要だ。新規事業の創出にも取り組んでいく。若手の発想は貴重だ。社員のアイデアを拾い上げながら自社の技術を生かしていきたい。さまざまな対話をしながら事業の創出を目指していく。

—グループ再編などで合併を経験している会社で

—中期経営計画ではワークスタイルやセキュリティなど五つの重点事業を掲げていますが、施策に変

—業と連携しシナジー(相乗効果)を出せるようにしていく。

南社長 SIとソリューションサービスの2軸で展開する中で、特にソリューションの領域で当社の独自性を出していくことが重要だ。新規事業の創出にも取り組んでいく。若手の発想は貴重だ。社員のアイデアを拾い上げながら自社の技術を生かしていきたい。さまざまな対話をしながら事業の創出を目指していく。

南社長 SIとソリューションサービスの2軸で展開する中で、特にソリューションの領域で当社の独自性を出していくことが重要だ。新規事業の創出にも取り組んでいく。若手の発想は貴重だ。社員のアイデアを拾い上げながら自社の技術を生かしていきたい。さまざまな対話をしながら事業の創出を目指していく。

常に見目に取り組んでいく。同時に若手中心に非常に元気が良く、いい雰囲気が出ています。一方で約7割が日立製作所からの請負事業になっているため、もっと独自のソリューション事業を強化していく必要があると見ている。

—課題に対してどのように取り組んでいきますか。

南社長 新たなチャレンジができる後押しをする。ともに投資も増やしていく。直接顧客に提案できるソリューションを開発して

—業と連携しシナジー(相乗効果)を出せるようにしていく。

南社長 SIとソリューションサービスの2軸で展開する中で、特にソリューションの領域で当社の独自性を出していくことが重要だ。新規事業の創出にも取り組んでいく。若手の発想は貴重だ。社員のアイデアを拾い上げながら自社の技術を生かしていきたい。さまざまな対話をしながら事業の創出を目指していく。

【プロフィール】みなみ・しょういち 1964年4月5日生まれ。東京都出身。横浜市立大学文学部数学科卒。89年4月日立製作所入社。2016年4月金融ビジネスユニット金融システム事業部金融システム第五本部長。17年4月金融システム事業部金融システム第一本部長。19年4月金融システム事業部金融システム第一本部長。23年4月日立ソリューションズ・クリエイト社長(現職)。

※本記事は、発行元の許可を得て掲載しております。